



人とクルマのいい関係をめざして

5  
2008 MAY

●編集室：〒107-8556 東京都港区南青山2-1-1  
本田技研工業株式会社  
安全運転普及本部内  
電話 03(5412)1736  
●編集人：千葉英雄  
●年間購読料：1200円(定価1部100円・消費税込)  
※郵便振替 口座番号：00170-7-173273  
※加入者名：(株)アストクリエティブ  
安全運転普及本部係

安全運転普及活動ホームページ <http://www.honda.co.jp/safetyinfo/>

今月の  
スポット

自転車を発見したら、『こうするだろう』と勝手に思い込まずに、その行動を十分に確認することが重要です。(特集より)

CONTENTS

- シリーズ:命を守る教育現場 第2回「ドライバーへの自転車教育」……①
- 自転車事故から守るためのアドバイス  
教育最前線②……③
- 静岡ガス(株)・エコドライブ研修/エコドライブの効果を実感し、安全運転につなげる企業研修
- 私の提言……④
- 桂 小米/落語の笑いを通して、高齢者に交通安全の基本を伝える  
危険予測トレーニング(KYT)……④
- 第2回「対向右折車の前を右折する時に」
- TRAFFIC ADVICE—交通教育センターから……⑤
- (株)シイ・エム・エス 安全運転講習会/自分が運転している姿を見ながら、より良い運転行動を考える
- TOPICS……⑥
- 埼玉県「平成20年春の全国交通安全運動スペシャル～セーフティマインド2008心から心への交通安全～」
- 茅ヶ崎市「第2回 春休み親子で一緒に自転車のルールを知ろう！」
- フィリピン「ホンダ・セーフティ・ドライビング・センター開所式」
- NEWS REVIEW……⑥
- 平成19年度 国際交通安全学会 研究調査報告会ならびに学会賞贈呈式
- DOCUMENT EYE ⑥
- 信号機のない交差点での車両の一時停止状況を観察する

シリーズ:命を守る教育現場 第2回「ドライバーへの自転車教育」

# 自転車を事故から守るためのアドバイス



自転車事故の8割以上はクルマとの事故である。では事故を防ぐために、ドライバーは自転車に対し、どのように対応したらいいのか。自動車安全運転センターは平成19年度に行った「自動車側からみた自転車の通行方法の特性等から生じる対自転車事故の回避に関する調査研究」をもとに対自転車交通事故対策マニュアルを取りまとめた。この中から、ドライバー向けに自転車事故を回避するためのポイントを挙げるとともに、既に自転車事故防止の社内教育を行っている企業の活動を紹介します。

自転車に関係する交通事故件数は、全体の事故件数の減少と同様に、3年連続で徐々に減ってきているが、事故全体に占める割合は平成9年の18・1%から、19年には20・5%に増加している。なかでも、自転車事故の82・6%が自動車と相手とした事故である。自動車安全運転センター調査研究部長の安藤憲一さんは、事故発生要因を自動車側からみると、自転車の通行方法の特性や通行意識から生じていると考えられる事例が多くみられるという。具体的には、自転車が車道と歩道の通行をその場の交通量などの状況に応じて自由に変更するため、自動車

側から自転車を視認しにくくなる事例、交差点で自転車が進道通行と同じ感覚で安全確認せずに横断通行するため回避が難しくなるといった事例がある。

「こうした自転車の通行特性等を背景に、自動車対自転車の事故が生じる可能性がある状況について、実車を用いて模擬実験を行い、自動車側からみた事故回避の可能性について明らかにすることをめざしました」と安藤さんは調査研究の目的を話す。今回の調査研究では①「自動車対自転車による事故実態の分析」

②「自動車運転者へのアンケート」③「自動車安全運転センター中央研修所の模擬市街路における実証実験」④「自転車利用者に関する参考実験」が行われた。①事故実態の分析は図1・2(二部抜粋)の通り。

②のアンケートは東京都内の運転免許試験場(府中・鯉洲)を訪れた自動車運転免許保有者714名を対象に行った。その結果、「自転車は特に注意を必要とする思わぬ行動をする」「対自転車事故回避のための対応方法について多くの者が知識として理解している」ことがわかった。



自動車安全運転センター中央研修所(茨城県ひたちなか市)の模擬市街路で、自動車対自転車の事故発生件数が多い交通場面を設定し、被験者の運転行動を計測した

「自動車対自転車による事故実態の分析」 ※平成19年中

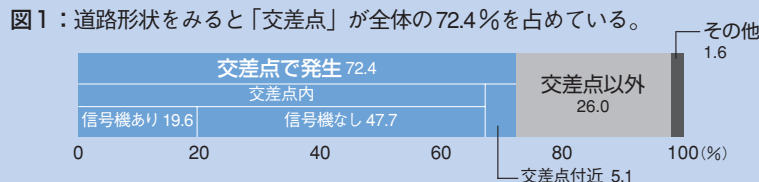


図2: これを事故類型と合わせてみると、最も多いのが「信号機のない交差点での出会い頭事故」(全体の53.6%)次いで「信号機がある交差点での自動車の右左折時の事故」(同17.0%)

		正面衝突	追突	出会い頭	追越時	右左折時	その他	計
交差点内	信号機あり	0.1	0.1	8.0	0.1	17.0	1.7	27.1
	信号機なし	0.4	0.2	53.6	0.3	8.9	2.8	66.3
交差点付近		0.4	0.2	2.2	0.4	1.3	2.1	6.6
計		0.9	0.5	63.9	0.8	27.2	6.6	100.0

## 自転車側の立場と心理を理解する

③の実証実験では、自動車対自転車の事故発生件数が多い交通場面を設定し、被験者24名の運転行動を計測した結果、見通しの悪い交差点の手前で減速をしないなど、自転車の出現を予測していたとはいえない運転行動がみられた。

④「自転車利用者に関する参考実験」では、障害物がない歩道上において、普段通りの速度で走行してもらったところ、速度は被験者39名(10~70歳代)の平均で12km/hの速度で走行しているという知見などを得た。

これらの調査と実験の結果より同センターは、自動車運転者用の「対自転車交通事故対策マニュアル(以下、マニュアル)」を作成した。マニュアルは「ドライバーからみた自転車事故予防」というタイトルで、A4版6ページにまとめられている。自転車事故の現状、自動車運転者の自転車に対する意識や自転車側の行動・知識などの調査研究の結果、および注意する事故回避ポイントで構成されている。

シリーズ:命を守る教育現場 第②回「ドライバーへの自転車教育」

自転車の動向を十分確認し、余裕を持った運転を

調査研究の座長を務めた筑波大学大学院人間総合科学研究科教授の吉田章さんは、「今回の調査研究で、ドライバーは自転車が予測できない行動をとるという知識は持っていることがわかりました。しかし実際面で、その知識に基づいた行動につながらない場合があります。例えば、ドライバーが目的地の到着のみに意識が向いてしまったり先急ぎ運転などをしてしまった時に、事故を起こしてしまうと考えられます」と話す。「まず自転車の存在を認識し、自転車を発見したら、『こうするだろう』と勝手に思い込まずに、その行動を十分に確認することが重要です。このマニュアルを使いながら、自転車側の立場と心理を理解してほしいと思います」。



対自転車交通事故対策マニュアルは5月中旬に、自動車安全運転センターのホームページに公開される予定。  
※自動車安全運転センターのホームページ <http://www.jsdc.or.jp/>



自動車安全運転センター調査研究部長・安藤憲一さん

マニュアルの普及方法について、安藤さんは全国の自動車運転免許試験場での免許取得者や更新講習受講者等への配布を検討するとともに、「より多くの方々にご利用いただくために、5月中には自動車安全運転センターのホームページからマニュアル(PDFファイル)をダウンロードできるようにする予定です。教習所での高齢者講習等、安全運転管理者が置かれている企業での社内安全講習等でも活用してほしい」という。

自転車を守る企業の取組み

生活道路を利用する企業では、自転車と事故を防止するために、どのような取組

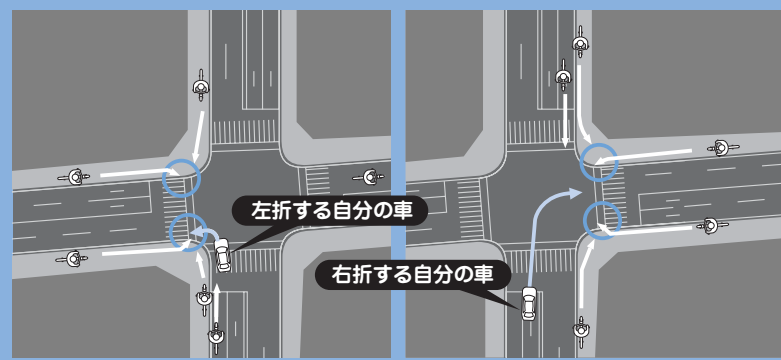
みが行われているのだろうか。宅急便で知られているヤマト運輸(株)には「ゴジロオ君を守る」という安全運転のスローガンがある。「ゴジロオ」とは「コ(こ)ども」「ジ(じ)自転車」「ロ(ろ)老人」「オ(お)ートバイ」を指す。このスローガンは同社の企業姿勢である「人命の尊重」から生まれた。同社CSR部社会貢献課の安田稔さんは、「私たちは生活道路を企業活動の場として使わせていただいていますから、地域で生活されている方々の安全確保を最優先しなければならぬと考えています。生活道路では歩行者、自転車、二輪車との遭遇は避けられないので、セールスドライバーがこうした交通参加者を守らなければいけません。スローガンと、背景にある考え方を研修の機会などを通じて、セールスドライバーに伝えていきます」と話す。

このスローガンのもとで、宅急便などを担当するすべてのセールスドライバーに対し、運転者としての心構えや注意事項を記載した「運転者安全手帳」を配布している。安全手帳の中で二輪車と合わせて自転車の特性や危険な状況を紹介、注意を喚起して

マニュアルに掲載されている事故回避ポイント (一部抜粋)

交差点では、自転車の存在や動きを十分確認しましょう

- 例えば右折の場合、赤信号で停止線手前にて停止した際には、信号待ち時間を利用して自転車が存在しないか周囲の安全確認を心がけましょう
- 交差点内に入ってしまった場合でも、各方向から自分の進行先を横断する可能性のある自転車の存在を確かめましょう

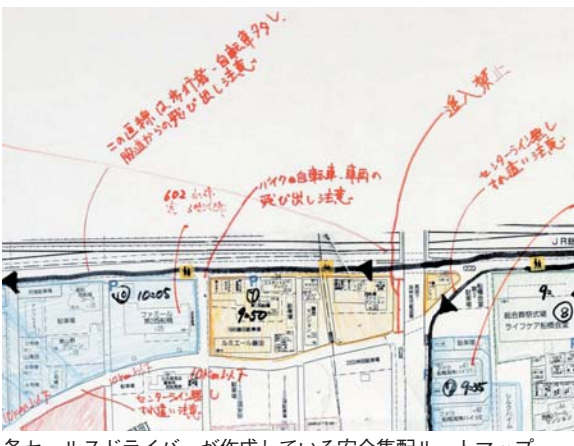


※青丸印で示した横断歩道付近のほか、白矢印のように交差点に向かう自転車も、横断する可能性があります。

心得ている安全運転を行い、漫然運転にならないように心掛けましょう

到着が遅れそうになって先急ぎになったり、もの思いにふけた運転	朝夕の通い慣れた道路の走行
先急ぎ運転や漫然運転をなくそう	自転車も急ぐ状態になっているので、クルマ側が十分注意を払おう
見通しが悪いわき道を発見	雨天時の走行
急な自転車の飛び出しを想定し、速度を落とそう	視界が狭くなるので自転車を見落とさぬよう注意しよう

各セールスドライバーは「安全集配ルートマップ」も作成している。これは自分の集配エリアの住宅地図に見通しの悪い交差点など潜在的な危険箇所、危険度の高い右折を少なくするためのルートや、時間帯別の歩行者や自転車の通行量などを記入したもの。セールスドライバーは、「安全集配ルートマップ」を確認してから運転している。安田さんによると、このマップが安全確保の実効をあげるとともに、セールスドライバーの安全意識の向上にも役立っているという。「こうした情報を蓄積して、担当者が代わっても同じように安全運転ができるようにしています」。歩行者はもちろん自転車、二輪車を守るという意識を社内でも共有しているところにヤマト運輸の取組みの特徴がある。



各セールスドライバーが作成している安全集配ルートマップ



ヤマト運輸(株)のセールスドライバーに配布される運転者安全手帳

いる。例えば、特性では「対向車などの影に入り見えにくい」「速度感、距離感がつかみにくい(同じ速度でも、四輪車より遅く感じる)」「急に進路変更する」など。危険な状況は、「追い越す時(風圧で相手が倒れこむことがある)」「自転車が横断、右左折しようとする時」「幼児を乗せた状態のまま路上に止めてある時」など。また、自転車や二輪車に接近したら、やり過ぎずか2m以上の側方間隔をあけるなど十分に注意することも、運転者安全手帳に明記されている。

ドライバーと自転車のコミュニケーション

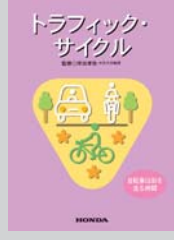
昨年12月に、警察庁の「自転車の安全な通行方法等に関する検討懇談会」がまとめた報告書では、ドライバーが周知すべき事項の中に「交差点では、自転車運転者としてできるだけアイコンタクトをとるようにして通行すべきこと」と明記されている。

ドライバー側からどのようにアイコンタクトを行うか。同懇談会でも座長を務めた吉田さんは「交差点で左右から接近する自転車に対しては、自転車を認めるのではなく、運転している人の顔を見ることが大切で、道を譲る時は、片手を出して『どうぞ、お先へ』と合図を送れば、自転車運転者とスムーズなコミュニケーションがとれるはず。また、交差点を右左折する時は後方から接近している自転車がいないかどうか、ミラーに頼らず、目視で確認してほしい」とアドバイスする。こうした基本的なことをドライバー一人ひとりが実践していけば、自転車との事故を防ぐことができるはずである。



筑波大学大学院人間総合科学研究科教授・吉田章さん

自転車との事故を防ぐために 小冊子「トラフィック・サイクル」



Hondaでは昨年5月、クルマやバイクの運転者に自転車との事故を未然に防ぐヒントを掲載した小冊子「トラフィック・サイクル」(監修:岸田孝弥・中京大学教授)を発行し、Hondaの四輪販売会社・二輪販売店で無料配布した。クルマやバイクの運転者が、自転車利用者の行動特性を理解し、事故防止に役立てていただくための知識やデータなどが盛り込まれている。特別付録として「楽しく覚える標識トランプ」が付く。

この小冊子の内容については以下のホームページをご覧ください。  
<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/kyt/cycle/>